

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、まもなく始まる夏季休業、生徒が計画的に、そして主体的に課題に取り組むための「夏期課題一覧」のあり方について検討する。

富山県・私立片山学園中学校・高校 森内梨絵先生提供
「全学年共通 夏期課題一覧」

Before

片山学園高等学校 平成29年度 9期生

夏期課題一覧

課題量の目安(1日当たり)

●7月7日(金)~8月4日(金) 8月21日(月)~29日(火) [38日間] (精講等あり) ●8月5日(土)~20日(日) [16日間]

英数国…各1時間、理社…各30分、独自の学習1~2時間 (計約6時間) 英数国…各1.5~2時間、理社…各1時間(理系理…2時間)、独自の学習2時間 (計約8時間)

教科	課題内容	7/3提出	8/3提出	8/20提出
英語	①英語文 自由英作文 ②「日本は私の中で多様性を感じていますが、多様なと感じますか」 ③「ラブレター」を完成させよう ④「もしも」50字~100字「現実の作文用紙を参照のこと」	①英語文 自由英作文 ②英語文 自由英作文 ③英語文 自由英作文	①英語文 自由英作文 ②英語文 自由英作文 ③英語文 自由英作文	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
数学	①「コミュニケーション」 数学Ⅱ、5+10(自由学習) ②「2次元図形」「相似」「角の二等分線」「三角関数」「ベクトル」 ③その他、夏季休業中の発展的な、ササードのコミュニケーションの発展的な ④「コミュニケーション」 数学Ⅱ、5+10(自由学習)	その1、2	その1、2 ⑤(未完ならOK) その3~5	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
国語	①現代文テーマ3 ②古文テーマ3 ③現代文テーマ3 ④漢字 P100~111	①④~⑤ ②①~② ③②~③ ④②~④	①④~⑤ ②①~② ③②~③ ④②~④	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
物理	基礎問題プリント解き	物理系	物理系以外	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
化学 (理系)	①ニューロバロ(化学基礎)化学(化学基礎)問題・実験問題(2種類) ②アクセスノート化学(化学基礎)化学(化学基礎)問題・実験問題(2種類)	① 化学の力	① ノート(課題) ② キモスト	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
化学基礎 (文系)	つかひセンター1~3 基礎問題・実験問題	基礎問題実力テスト (1)基礎問題	基礎問題実力 (1)基礎問題	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
生物	実験とともに行なった課題を準備	なし	なし	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
日本史	① 富山県史 ② 富山県史 ③ 富山県史 ④ 富山県史 ⑤ 富山県史 ⑥ 富山県史 ⑦ 富山県史 ⑧ 富山県史 ⑨ 富山県史 ⑩ 富山県史 ⑪ 富山県史 ⑫ 富山県史 ⑬ 富山県史 ⑭ 富山県史 ⑮ 富山県史 ⑯ 富山県史 ⑰ 富山県史 ⑱ 富山県史 ⑲ 富山県史 ⑳ 富山県史 ㉑ 富山県史 ㉒ 富山県史 ㉓ 富山県史 ㉔ 富山県史 ㉕ 富山県史 ㉖ 富山県史 ㉗ 富山県史 ㉘ 富山県史 ㉙ 富山県史 ㉚ 富山県史 ㉛ 富山県史 ㉜ 富山県史 ㉝ 富山県史 ㉞ 富山県史 ㉟ 富山県史 ㊱ 富山県史 ㊲ 富山県史 ㊳ 富山県史 ㊴ 富山県史 ㊵ 富山県史 ㊶ 富山県史 ㊷ 富山県史 ㊸ 富山県史 ㊹ 富山県史 ㊺ 富山県史	なし	なし	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
地理	① 富山県史 ② 富山県史 ③ 富山県史 ④ 富山県史 ⑤ 富山県史 ⑥ 富山県史 ⑦ 富山県史 ⑧ 富山県史 ⑨ 富山県史 ⑩ 富山県史 ⑪ 富山県史 ⑫ 富山県史 ⑬ 富山県史 ⑭ 富山県史 ⑮ 富山県史 ⑯ 富山県史 ⑰ 富山県史 ⑱ 富山県史 ⑲ 富山県史 ⑳ 富山県史 ㉑ 富山県史 ㉒ 富山県史 ㉓ 富山県史 ㉔ 富山県史 ㉕ 富山県史 ㉖ 富山県史 ㉗ 富山県史 ㉘ 富山県史 ㉙ 富山県史 ㉚ 富山県史 ㉛ 富山県史 ㉜ 富山県史 ㉝ 富山県史 ㉞ 富山県史 ㉟ 富山県史 ㊱ 富山県史 ㊲ 富山県史 ㊳ 富山県史 ㊴ 富山県史 ㊵ 富山県史 ㊶ 富山県史 ㊷ 富山県史 ㊸ 富山県史 ㊹ 富山県史 ㊺ 富山県史	① 地理の力	① 地理の力 ② 地理の力	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

課題中間提出日は7月28日、8月18日(高校生登校日)、最終提出日は、実力テスト終了日の終礼時とします。
※担当の先生から別の指示がある場合はそれに従うこと。

- 課題
- 1 学校から出された課題でどのような力を伸ばしたいの
か、もっと明確に意識させたい
 - 2 課題を通してどのような力を生徒が身につけたかを
確認する場をつくりたい

検討メンバー

ツール提供者

富山県・私立
片山学園中学校・高校
森内梨絵
もりうち・りえ

群馬県立
高崎東高校
高橋真人
たかはし・まさと

埼玉県・私立
武南中学校・高校
岡本眞一郎
おかもと・しんいちろう

富山県・私立片山学園中学校・高校
では、目的意識を持って主体的に学習
に取り組む生徒を育てるため、夏季休
業中の課題の出し方の改善に着手した。
課題に主体的に取り組めるよう、「課題
一覧」に「課題を通して身につけたい力」
を生徒に記入させている。課題に取り
組むことでどのような力が身につく
のか、学校からの課題以外にどのよう
なことに取り組めばよいかを考えるきつ
かけにするのがねらいだ。

だが、自分ができるようになりたい
ことと学校の課題を関連づけられてい
る生徒はまだ少ないのが実情だとい
う。さらに、課題を通して生徒の成長を評
価する機能の必要性も感じている。

課題に取り組む目的を意識化させ、
より主体的な学習を実現したい

全学年共通 夏期課題一覧

After

改良ポイント

1 課題のねらいを明確に伝える

生徒から、アンケートなどで把握した「夏に身につけたい力」を踏まえて、教科担当が共通課題と選択課題を用意したことを生徒に伝える。

2 夏季休業明けに振り返らせる

2学期に行うテストの結果を踏まえて、夏季休業中の学習によって何ができたようになったか、今後どのような学習が必要かを考えさせる。



夏期課題一覧

年 組 番 氏名

	できるように なりたいこと BEST3	教材	課題のテーマ/ 難易度			課題テストの 出題形式	選択した 課題に○	2学期の課題テストの 自己評価	何ができるようになったか 何ができる力が 不足しているか
			古語	文法	読解				
国語	<ul style="list-style-type: none"> 古文文法力をアップ 古語力をアップ 古文読解力をアップ 	共通) 指定問題集 ●章～●章	標準	標準	標準				
		発展) 応用問題集 ●章～●章	難	難	難				
		標準) スタンダード問題集 ●章～●章	標準	標準	標準				
		基礎) ベーシック問題集 ●章～●章	基礎		—				
		自選【 】	【 】						
数学	<ul style="list-style-type: none"> 平方完成がスムーズにできるようになりたい 文字を含む最大・最小問題が解けるようになりたい 場合分けのやり方をマスターしたい 	共通) 指定問題集 ●章～●章	標準	標準	標準				
		発展) 応用問題集 ●章～●章	難	難	標準				
		標準) スタンダード問題集 ●章～●章	標準	基礎	基礎				
		基礎) ベーシック問題集 ●章～●章	基礎						
		自選【 】	【 】						

生徒の声を生かして課題を精選し、生徒自身に課題を選ばせる

まず、夏季休業前にアンケートなどで、生徒に「夏に身につけたい力」を聞き、その結果を踏まえ、「課題で身につく力」を説明する文章とともに課題を提示する。その際、全員が取り組む共通課題を絞り込んだ上で、「基礎・標準・発展」の3段階で選択課題を用意する。共通課題は学習習慣の維持に必要な最低限の量にとどめ、その代わりに自らの状況に合った課題を選ばせることで、生徒の主體的な学習を促す。

また、2学期には、夏季休業中の学習の成果を測るテストを実施し、そこでは選択した課題に応じて解く問題を選ばせる。夏季休業中に取り組んだ学習の成果を評価する場面があることを事前に生徒に伝え、学習意欲を高める。

次ページでは、3人の先生方の検討の様子をダイジェストで紹介!



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<http://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」でご覧ください。

全学年共通 夏期課題一覧



活用の流れ

- 1 生徒にアンケートなどを実施し、生徒が夏季休業中に身につけたい力を把握する
- 2 生徒の声を基に、夏季休業中だからできる課題を精選し、共通課題、選択課題に整理する
- 3 生徒は2学期に、自身が取り組んだ課題の内容に対応した評価テストを受ける
- 4 夏季休業中の学習の成果を把握し、秋以降の学習の方針を立てる

コミュニケーションを経て課題に取り組みことで主体性が高まる

検討会ではまず、夏季休業中の課題に対する教師と生徒の意識の問題点が話題に上った。教師は生徒の学習習慣を維持させたいという思いから、量をこなすことをつい優先してしまい、また生徒も「とにかくやっておけばよい」といった考えになりがちだ。だからこそ、夏季休業に入る前に教師が生徒の学習状況を分析した上で、「何のためにこの課題を与えるのか」を生徒に伝え、生徒も自分の学習状況を踏まえて、「何を目標に課題に取り組むのか」を考え、た上で自分に合った課題を選択することが必要だという結論に至った。また、

そうした「課題を軸にした生徒と教師のコミュニケーション」が成立することで、教師の課題の精選が進み、「夏季休業中であっても取り組める課題」が減少し、「夏季休業中だからこそ取り組ませたい課題」が増えるといった好循環が期待され、生徒の学習意欲の向上につながるという意見も出た。

さらに夏季休業に限らず、年間を通して「課題一覧」をポートフォリオとして蓄積することで、教科学習における自身の成長を生徒が語る材料になるといった指摘もあった。「何を意図して学習に取り組んだのか」「その結果、何ができるようになったのか」という過程を俯瞰させる習慣は、今後の大学入試への対応にもつながるだろう。

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

主体性を尊重することで大きな成果が期待できる

富山県・私立片山学園中学校・高校 森内梨絵 もりうち・りえ



夏季休業中の課題は、部活動に所属する成績中位の生徒がこなせる質・量を想定していますが、当然そこからずれる生徒も出てきます。全員が取り組む共通課題を減らし、選択課題を増やすのは、生徒の現状に合った考え方だと思いました。また、学習のペースメーカーとなる課題だけでなく、夏季休業中だからこそ取り組みたい課題も与えるべきだという観点は大きな気づきでした。

共通課題を精選し、選択課題を増やすのは、それなりの負荷がかかる作業です。ただ、生徒の夏季休業中の課題への取り組み方をもっと主体的なものにしたいという問題意識は本校の多くの先生方が共通して持っているものですので、きつと先生方も「やってみよう」と賛同してくださると思います。

実は本校は今年度、土曜日の学習講座で、受講する講座を教師が指定する方式から、生徒に選ばせる方式にしたことで、生徒の出席率が改善しました。夏季休業中の課題でも主体性を尊重することで、より大きな成果が挙げられることを期待しています。

森内先生プロフィール 教職歴9年。同校に赴任して10年目。進路指導部長。国語科。「生徒の未来と可能性を、生徒とともに探す」
学校プロフィール 全日制／普通科／共学／1学年約1000人／2018年度入試合格実績（現浪計）／国立大は、北海道大、東北大、東京大、名古屋大、京都大、大阪大、九州大などに38人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ173人が合格。

主体性を尊重する工夫はすべての生徒に行える

群馬県立高崎東高校 高橋真人 たかはし・まさと



昨年度までの勤務校では、生徒の進路は就職から進学まで多様でしたが、基礎学力が十分に身につけておらず、学習に対して自信のない生徒が少なくありませんでした。そのため、夏季休業中の課題では基礎・基本の問題を無理のない量で与え、達成感を味わわせることを重視していました。ただ、そうした生徒に対しても、夏季休業中だからできる活動はあります。志望校の過去の入試問題を見て、興味ある問題を選ばせ、なぜその大学にしたのかを聞くのも一案です。入試問題を解く力がまだない生徒にも、入試に目を向けさせることはできます。

今回の「夏期課題一覧」でも、就職希望の生徒の存在を意識して、「就職希望者向け問題」「進学希望者向け問題」とカテゴリーを設けることができます。その結果、すべての生徒が自分に必要な課題を選ぶことになり、取り組みの姿勢は主体的なものに変わっていくはずです。生徒の学力や希望進路にかかわらず、夏季休業中の課題を主体性の育成に生かすことができると思います。

高橋先生プロフィール 教職歴14年。同校に赴任して1年目。教務部。数学科。「物事に謙虚に、楽しく取り組む大切さを、自らの姿を通して生徒に教えたい」

学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約200人/2018年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、茨城大、群馬大、富山大、高崎経済大などに16人が合格。私立大は、群馬医療福祉大、東海大、東洋大、文教大などに延べ110人が合格。

「学習の目的」を平素から明確に語る

埼玉県・私立武南中学校・高校 岡本眞一郎 おかもと・しんいちろう



「この学習でどんな力が身につくのか」は、夏季休業中に限らず、日々の授業でも生徒に考えさせることが大切です。そのためにはまず、生徒に対して「この学習の目的は何か」を明確に伝えていく必要があります。夏季休業中の課題を出す際も、それに取り組むことで生徒にどうなっていきたいと考えているのか、具体的な言葉で示した方が効果的ですし、そうでないと、生徒はやらされ感を抱えたまま漫然と取り組んでしまいます。

今回、私が特に感じたことは、「夏季休業中だからできる学習に学年団はもつとこだわるべき」ということです。課題の総量調整はもちろん、選択肢の中から生徒自身に課題を選ばせることも取り組むべきでしょう。また、課題テストは夏季休業中の課題で生徒が期待通りの力を身につけたかを、検証できるものになっているかをチェックすることも大切です。そして、「夏期課題一覧」の名称も「夏の力こぶをつくらう!」などと、生徒も教師も夏季休業中の課題に楽しく取り組めるものにしたいですね。

岡本先生プロフィール 教職歴36年。同校に赴任して1年目。広報部。英語科。「活躍できる場を与え、対話を通して学び、生徒一人ひとりに成長や自立を実感させたい」

学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約400人/2018年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、筑波大、埼玉大、千葉大、東京外国語大、首都大学東京などに18人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、東京理科大学、早稲田大などに延べ646人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①~④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認をお願いいたします

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時~21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。